



<本年度会長方針>

# 新たなる一步を

WEEKLY REPORT  
No.1259



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 高木政義 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 大原敏正 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)

## 第1476回例会

ロータリー憲法(第百四)地区  
平成26年7月17日(木)  
委員長所見  
於 名古屋東急ホテル  
委員 59名

出席計算数  
52名中49名出席

出席率 94・23%

前及前回出席率 92・31%

### 例会プログラム

★木村直前会長

・立法案提出のお願い

・旅行サークル設立アンケート

★春日井青少年奉仕副委員長

・受入青少年交換学生生フエアウエル及び帰国の報告

★委員長所見

### 「ロータリーソング」

「我等の生業」

指揮者 鬼頭 茂成  
ピアノ伴奏 富板 玲子

### 「ニホックス」

委員長のみなさんよろしくお願ひします。  
高木 政義

本日(は)早話(話)し(み)に(し)て(お)り(ま)す。  
酒井 修

誕生日です。72才になりました。  
林 順治

あと10年生きたいです。  
小笠原和俊

小笠原さん宜しく。尾上 昇

小笠原さん久し振ります。  
荻葉 賢一

尾上さん御世話になりました！

岡部 快圓

第3回会員増強委員会ありがとうございました。高木さんごちそうさまでした。武藤恵美子

岡村さん、土・日は大変お疲れ様でした。ありがとうございます。

暑いですねー 春日井和良

お暑いですね。 横井 衛

渡辺さんありがとうございます。 杉浦 令淑

旅行サークル楽しいですよ。 桑山 光俊

の参加をお待ちしています。 木村 光徳

### 会長挨拶

会長 高木 政義



一つの事象でも立場、見方によって評価、判断が180度異なることがあります。会計監査と税務の分野でもそのような例が多くあります。

婦人服を製造販売している会社を想定します。決算処理として期末在庫の計上があります。会計監査人が在庫の中から長期滞留と思われる品番を抽出して期末評価の妥当性を検討する過程で、ある品番が流行遅れとなってほとんどが売れ残りとなっていることが判明しました。販売実績はごく少量のみです。1000万円とっている

在庫は過大とみられます。会社担当者と議論の後、900万円を商品評価損とすることになりました。後日税務調査があり、この900万円が損金であるかが問題となりました。

国税調査官は販売実績があり販売益がでているので在庫は1000万円である。900万円の評価損は認められない。当初の課税所得に900万円を加算した金額の修正申告を提出するようにと会社に伝えました。在庫の金額について、会計監査人は100万円、国税調査官は1000万円と判断しています。まさに会計と税法の目的とするものの違いがこの結果となつています。

会計では不良在庫の評価を厳しくみます。資産、利益が決算書に適切に表示されなければならぬからです。一方税法では課税の公平が要求されます。恣意的な課税所得の計算による申告納付は認められません。その立場、見方によって一つの事象に二つの評価が付される例でしょう。実務ではこの二つの評価が大きな課題であり、議論が続きます。

### 委員長所見

社会奉仕委員長 松本 哲朗

社会奉仕委員会は多彩な奉仕活動を開展し会員に超我的奉仕活動の機会を与えるという役割があります。

### 1. 地区補助金事業



本年度のロータリー財団地区補助金事業は、名古屋では長久手に「介助犬総合訓練センター」～「シニアの丘」がある。「日本介助犬協会」を支援します。機会があることに介助犬の認知度を高めようと企画しており、具体的には9月4日の例会プログラムとして、会員の皆様に介助犬の実演を見せたいです。

また、9月25日は例会場所を変更し、第一ア×横ビルの会議室にて食事の後、大須の「ふれあい広場」で大須商店街を訪れる一般の人に見ていただくよう計画しています。また、平日の昼間はあまり通行人もいないと聞き、桑山さんの高蔵幼稚園の園児50名(ほろろ)保護者の方にも来てもらいます。実演の後、「メ兵さんまで園児とともにパレードをし、介助犬の入店OKのステッカーを貼ってもらって解散致します。新聞、テレビの報道関係にも呼びかけします。今回は2月か3月に、大須小学校を予定していますが、児童を対象に実演PRを企画しています。地区補助金と社会奉仕委員会費の支出の合計35万円で介助犬協会の出張費、講演費用を含めた支援となりますが費用のほとんどは

名古屋大須RCをアピールしたホ  
スター、ステッカー、缶バッジと  
ポロシャツをデザインして介助犬  
協会で作ってもらいます。

## 2.名古屋市内25RC

### 社会奉仕委員会支援事業

市内25RC社会奉仕委員会事務

業もエントリして障がい者支援  
センターアロハラブが中電ホール  
で行う障がい者コンサートへの資  
金援助を致します。

1月から10月の日曜日とま  
りますがコンサートへ来ていただ  
く例会変更となります。

### 3.老人介護施設訪問

老人介護施設への音楽演奏顧問  
も、例年通り企画致します。

### 4.寄付金募集活動の継続

### 5.OSU山桜フィールド

環境保全として昨年の30周年  
で始まったOSU山桜フィールド  
の継続管理の維持をフィールドク  
ルプリーダーとして前田さんに  
一任しております。

## 委員長所見

### 国際奉仕委員長 酒井 修

本年度国際奉仕委員長を仰せつ  
かりました酒井修です。副委員長  
に林富徳さん、委員に岡部快園さ  
ん、松永裕子さんの4人で1年間  
行つてまいります。よろしくお願  
い致します。

国際奉仕委員会もWCS(世界社



会奉仕プロ  
ジェクト)  
の国際奉  
仕への統  
合、青少  
年交換の  
移管等、以前とは大きく変わって  
きております。地区研修・協議会  
で勉強してきましたことを踏まえ  
所見を述べさせて頂きます。

本年度国際ロータリーのテーマ  
「ロータリーに輝きを」

本年度地区ガバナール方針

「集まろう・語ろう・楽しもう」

本年度大須クラブ高木会長方針

「新たな一歩を」

皆様方はこの3つは、「存じか  
と思ひますが、当委員会としては  
もう一つございます。

本年度地区国際奉仕関連部門方針  
「世界の現況を理解し、奉仕の心  
で親睦と平和を」

以上4つのテーマ、方針に従つ  
て進めてまいります。

まず最初に「ロータリーに輝き  
を」。R-会長の強調事項として、  
地域社会でロータリーの存在感を  
高めること、ロータリーを輝かや  
かせるためには、会員増強が必要  
である、会員増強のためにも「ロ  
ータリーデー」の世界各地での開  
催が計画されております。

当地区におきましても、ロータ  
リーを一般市民に知ってもらい次

世代のロータリアンの為に「ロー  
タリーデー」である11月1日と3  
日土曜から月曜の3連休に(1日  
土曜日は、チャリティアンと重なり  
ますが)栄の久屋大通り公園で  
地区事業として開催されます。W  
FF「ワールドフッド・ふれ愛フ  
エスター」への会員の皆様方の積極  
的な参加協力をお願いし、世界を  
知って頂きたいと思っております。

続きまして、来年の国際大会は、  
6月6日(土)からブラジルサンパ  
ウロにて開催されます。サッカー  
ワールドカップ準決勝オランダ対  
アルゼンチン戦が、先週10日にサ  
ンパウロで行われました。1年後  
のブラジルサンパウロ国際大会へ、  
一人でも多くの方の参加をお願い  
してまいります。本年度地区方針  
「集まろう・語ろう・楽しもう」  
でございます。行事への積極的参  
加をお願いします。

また「海外旅行へお出かけの際  
には、その地域のロータリーの例  
会にバナーを持ってメーカーキャ  
ンにお出かけ下さい。素晴らしい出  
会いと感動を経験されると思いま  
す。」と地区国際奉仕委員長も申  
ております。

当委員会の事業につきましては、  
本年度地区国際奉仕関連部門方針  
「世界の現況を理解し、奉仕の心  
で親睦と平和を」、WCS(世界  
社会奉仕プロジェクト)が国際奉仕に  
統合されました。R-及び地区の  
国際奉仕委員会よりの「アジアの地

区はアジアの国に、日本はアジア  
の国ですから、欧米とかアフリカ  
諸国ではなく、アジアの国に地域  
に密着した奉仕をして下さい。」と  
言われております。当クラブとし  
ましては、姉妹クラブ又は友好ク  
ラブの提携ができるような密着し  
たお付き合いのできる国、都市、  
クラブの候補を選定出来ればと思  
っております。

ここにいらっしゃる大半のメンバー  
の方は存じないかと思いますが、  
名古屋大須RCは25年前の19  
89年、クラブの5周年記念とし  
て米国ワシントン州シアトル都市  
圏のウッディンビルRCと友好ク  
ラブ提携をしています。過去の記  
録より知りましたが、近年の交流  
は全く無いようでございます。

そこで、常に交流の継続ができ  
る身近な、身の丈に合ったアジア  
地域でのクラブの候補が選択でき  
ればと考えています。当クラブの  
メンバーの中にもアジア地域に企  
業展開している方もお見えになる  
と思ひますので幅広い意見を聞  
かせたいと思っております。

この件につきまして、皆様方に  
後日アンケート調査をさせて頂き  
たいと思っておりますので協力のほ  
どよろしくお願い致します。

次に、当クラブも31年目にはい  
り、以前国際奉仕委員会が担当し  
ていました、元青少年交換留学生  
派遣が35名、受入が33名、国際  
奉仕委員会関連ではございます

が、元米山奨学生14名、元ロータ  
リー財団奨学生3名の方が見え  
ます。この方々の現況の把握と情  
報の共有化、ネットワークの構築  
等を模索したいと思ひます。旧ホ  
ストファミリーの方、旧派遣生の  
父兄の方、旧力ウンセラーの方々  
にも後日アンケート調査をさせて頂  
きたいと思ひますので協力の  
程よろしくお願い致します。

以上でございますが、最後にも  
う一度、呼びかけも国際奉仕委員  
会の役割ですので再度申し上げます。  
来年度の国際大会は、6月6日  
ブラジルサンパウロにて開催され  
ます。一人でも多くのメンバーの  
方々の参加をお願いしております。  
国際大会へまだ参加されたこと  
のない方、高木会長方針でございま  
す「新たな一歩を」お願いした  
いと思ひます。以上で、私の所見  
を終わらせて頂きます、ありがた  
うございました。

## 委員長所見

### 地区研修 協議会実行委員長 鬼頭 茂成

(次号以降に掲載致します。)

7月31日(木)例会の案内  
SPEAK OUT DAY

広報委員会

杉浦 令淑・内藤 明

\*本文は、原則、頂いた  
原稿を転載しています。